

・ 邑知潟 ( 8 ) ・ ・ 羽咋市

36・55・29N 136・49・29E



1. ハクチョウ類飛来状況 (2011年～2015年)

	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	5年間平均
オオハクチョウ						
コハクチョウ	1,560±	950±	1,410±	1,380±	1,640±	1,388±
類合計	1,560	950	1,410	1,380	1,640	1,388

(※ 数値は協力員沢田隆氏計測のもの)

2. 選定地の状況

コハクチョウの日本海側渡りルートに位置し、低湿地帯農耕地が広がり中央に干拓後の河川状の旧潟が残る。両岸はコンクリート化、上流部のみ土堤防で葦も繁茂、自然の生態系が残る。潟は北陸地方最大のコハクチョウ越冬地とされ、カモ類も無数飛来する。

ハクチョウ飛来は10月初旬で、さらに南下する渡り中継群も見られ、数も次第に増加、12月～1月頃でも微増が続き、2月頃には北上群も立ち寄り数も急増、3500羽を超える年もある、3月下旬頃迄観察可能。時は潟内、日中は周辺や8<sup>㌔</sup>内外の田で採食する、給餌はしていない。オオハクチョウは一家族程度が時々見られる。

(協力員 沢田 隆)

・柴山潟（3）・・加賀市

36・22・07N

136・24・17E



1. ハクチョウ類飛来状況（2011年～2015年）

	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	5年間平均
オオハクチョウ	9					2
コハクチョウ	1,131	962	1,687	772	512	1,013
類合計	1,140	962	1,687	772	512	1,015

2. 選定地の状況

柴山潟から3km北東方向の小松市佐美町コハクチョウの渡りルートで低湿地圃場帯が広がる。ここでは地元有機農法農家の冬水湛水田を畴とするコハクチョウや、早朝から11km隔てる鴨池や、近くの柴山潟で畴をとったコハクチョウ達も飛来する。

給餌はしていないが、湿田状の田も多く採食環境は恵まれている様子。初飛来は10月中旬、3月下旬頃まで観察出来る。

（協力員 沢田 隆）  
（協力 山本芳夫）



・雁の池 (11) ・ ・ 珠洲市

37・26・49N 137・17・36E



1. ハクチョウ類飛来状況 (20011 年～ 2015 年)

	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	5年間平均
オオハクチョウ	5	5	5		6	4
コハクチョウ	274	302	151	112	268	221
類合計	279	307	156	112	274	226

2. 選定地の状況

蛸島大池や雁の池を畔とするコハクチョウ達は、早朝 2 キロ程度離れる正院小路の冬季湛水田へ飛来、ここで夕方迄過ごす。地元愛好会では田の水補給や朝のみの給餌を実施している。

観察は道路上や車内からでも容易であり、日中ゆったりと背眠する姿が間近で見られ、マガンなども見られる場合がある。

コハクチョウ飛来は 11 月初旬で 3 月中旬頃迄観察出来る。

(協力員 沢田 隆)

(協力 伊吹祥昭)

・河北潟 (7) ・ ・ ・ 金沢市

36.41.05 N 136.42.59 E



1. ハクチョウ類飛来状況 (20011年～2015年)

	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	5年間平均
オオハクチョウ						
コハクチョウ	43	228	178	236		137
類合計	43	228	178	236		137

2. 選定地の状況

穀倉地帯が広がる河北潟周辺域に有り、採食地域は南北8<sup>km</sup>に及び、コハクチョウ越冬の為、湛水田も数枚見られる年も有るが、位置は変動する。

コハクチョウの渡りルートで有り、マガンも少数飛来するが都市部に近く、整然と続く圃場はコハクチョウを容易に観察出来、不用意に近づき飛去も多く、飛来数の変動や、採食地も広範囲に渡り変動する。埒は湛水田を利用、河北潟湖面は渡り期に群れが羽根を休ませる光景が稀に見られる。ハクチョウの給餌は無い。初飛来は10月中旬、3月中旬頃まで観察出来る。

(協力員 沢田 隆)